

成年向け

甘美
お姫様





たらじゆく姉さんのおみやげ

たらじゆく姉さんのおみやげ

■と言う訳でマニヤ姉さんについていつもあれやこれやと思っている事をだだ漏れさせていくといった、まあいつものヤツなんど、気楽に寝転がって読むだけ頂ければこれ幸いだと。汚い手書き文字ですがね!!本当にごめんなさいね!!

■で、マニヤ姉さんの事などすがね、はこうモンバの姉妹の事を双子と勘違いしている人が居るのですが、当時の俺はもと変な勘違いをしていました。ミニア姉、マニヤ姉だと思っていたんだよ。世間的には「しかし者の姉」といた考えが一般的だと言ってしまはうと多少乱暴になってしまふかもしれません。俺の2人の姉はどちらか、上か下かしてどちらかと下が、本当にどちらかと遊び人?って感じがするけどその印象が強かったのはあからうかと今になって思ふ勘違いに気付いた時は、そりもう違和感バツバツだ、たけど今じゃどうだらぬ姉なのに絶好の萌えポイントしかねーもんね。

■マニヤ姉さんを語る上で、決して外す訳にはいかない事のひとつとして、その衣装がある。少し前に「ほとんど水着か下着も同然」である。最近再びその価値を見直されつつある「ビキニ鎧」とも違う。これが「鎧」じゃねーし。どう見てもビキニである。これから親の仇討ちに行く、このビキニである。ひとすると、ブラジャーのカップの部分は銅か何が出来ていて思ひの他、強力な防御力を誇るのも、などと考えてみたがいや、大切なおムネを守らにゃならん訳だし、そこもアリかな?と思ってみると、やっぱ納得いかねーし。だって、腹とか丸出しじゃん…腹パンとかされたら、…いや、それはそれでイイな…いやいや、ここぞこんな言語、とも仕方無いしね。ここは親の仇討ちにビキニ着て旅立ってくれたマニヤ姉さんに感謝すべきなのだ。ビキニこそがマニヤ姉さんを20年以上もトドケンサとして活躍させる原動力になっていると言ても過言ではないだろう。ま、主にエロ同人誌の中での活躍なんだけれどね!!

■ そいえば、ドラクエシリーズの女の子の装備有名な「あるいは水着、俺あれがそんなに好きじゃないやもう少しばと」と言ってしまえば、嫌いなくらいなんだけどさ、せんせんあるなくないやん!おもしろ牢獄!マニヤ姉さんに限って言えば露出が下がってるし、そり確かに防御力もアーフしゃうよ…あれは、ファミコンの荒々しいドット絵を見ながら、自分の中の「あるいは牢獄」を逞しく妄想することこそが本当の有り方だと思うのだ。ハッキリとしたビジュアルを持たねが故の、「妄想するエロさ」を、我々は決して忘れてはならない……

■マニヤ!!(←挨拶)はじめの方、はじめまして。どうぞ無い奴等、オッス。グレート魔神です。今回は、昔大好きだった、いやさ、今まで相変わらず大好きなドラクエⅢのメインヒロインである、モンバーバラの淫乱ドラゴラム、マニヤ姉さんの本です。褐色肌のグラマラスボディを、もうほとんど水着か下着も同然のコスチュームに包んで暴れ回る。その後に、ファミコン版発売の当時の小学生達は股間に熱く硬くさせ、性の目醒めを体験したという話を聞きます。ま、当時既に高校生だ、た俺も、股間に熱く硬くしておったんですけどね。いやいや、発売から20年経った今でも、当時より更に熱く硬くにある訳でして。ここ10年くらいで何故か急増した、ドラクエシリーズのエロ同人誌の中でも、Ⅲの女戦士や女僧侶に負けず大活躍も手伝ってよし、まあ俺も乗せてみるか。

このピタウーボー!!とか思ってこうして筆、いや、ペンタゴを握ってあるのです。



■大好きはあるものの、描くのが非常に苦手なキャラクターは結構多い。今更こんな事を書くのもどうかとは思うが、実はマニャ姉さんがそのひとりだ。じゃ、描くのが得意なのがあるのか、と、そんなのは無いんだけどね。

……イヤドランルが？

■で、何がそんなに苦手からて言うとですね、何は無くとも、その「髪型」です。全体的にべたりした感じで、描く人によつてはほとんどワコンレンジスってのもあるたりするんだが、このべたりした感じが、俺にとって非常に鬼門だったりするのだ。ファミコン版の当時のイメージイラストだと、まだ前髪に若干のボリュームが見られるが、最近のものだと、もうどうしたモンかと思うくらいにべたりてしまっている。もうこうなってくると俺のところ行動は限られてくる。がんばって練習を重ね、べたりとした髪型を描ける様になる！…なんてのは無理だッ!! そこぞ俺がとった行動は、「べたりさせない」であった。前髪のボリュームは勝手にこれどもかという程に増量。どうとか髪を全体的に長く外側にハネさせ、ついでと言ひんばかりにもみあげをのばした。もうここまで来ちゃったらと外ハネついでにアホ毛も生やしちゃうぜ。で、描き上がったのが今回この本に描かれているマニャ姉さんな訳なんですがね…わかるる、わかるこますって。似てないのは、だから最初に言つたじん苦手なんだって!! も大好きだ!!





■ 公式のイラストとかを見る限りではマニア姉さんのおっぱいはそんなに大きくはない。それどころかキャラ紹介のイラストでは随分と控え目なおムネをしていらっしゃる。同じシリーズ8のゼンカの様なあからさまな巨乳!という訳でもなさそうなのだが、では何故に二次創作ではおっぱいを大きく描かれる事が多いのだろうか。まあ、んな事ヤドーでもいいや! 僕も大きく描くもんね。



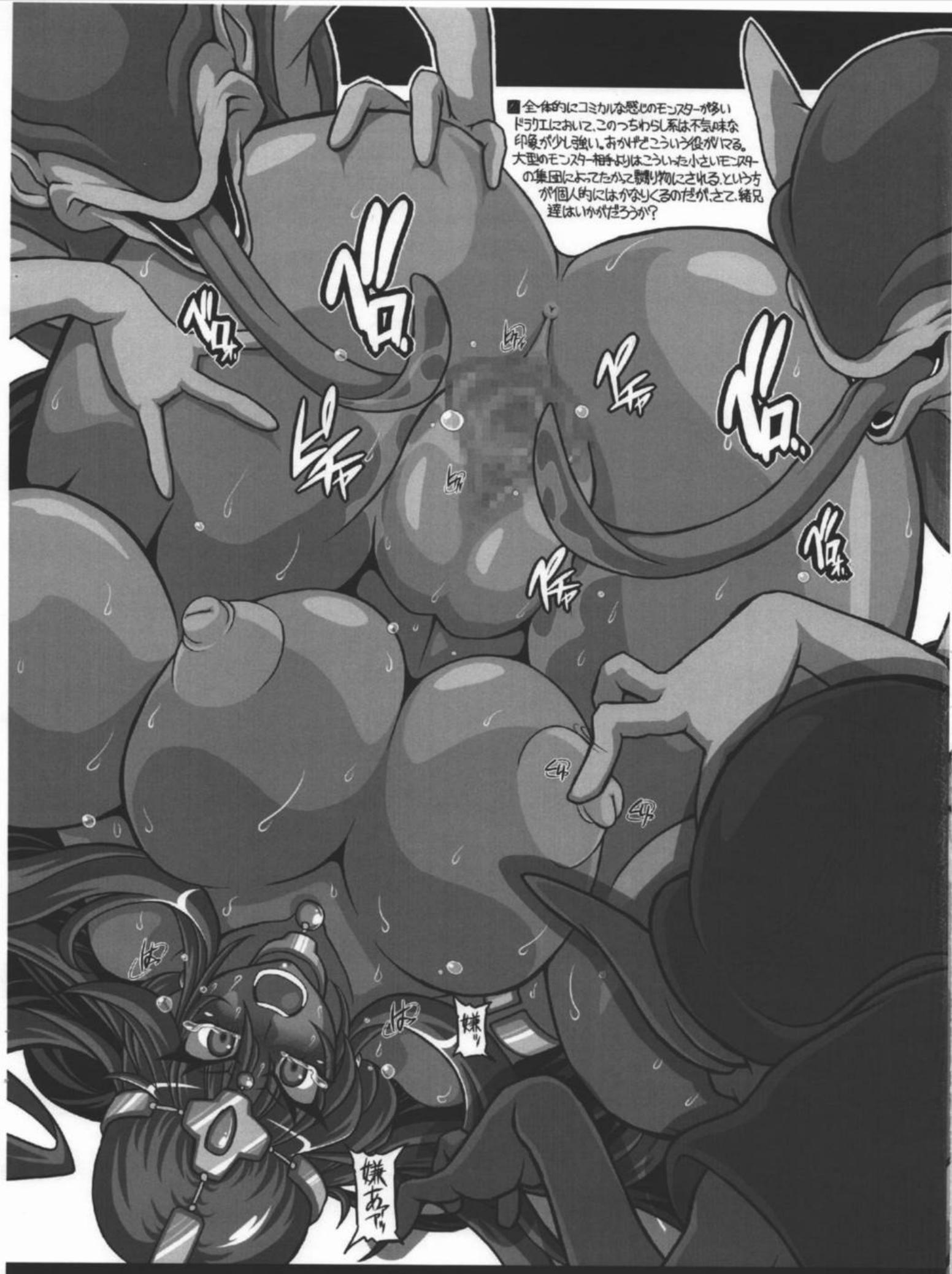
■ 褐色肌の場合の乳首の色についてだが、いろいろな意見があると思う。黒っぽいのが好みの人も、地の色よりほんの少し濃いのが良い、という人もいるだろう。可愛らしく淡いピンク、という二次元ならではといふのももちろんアリだ。でもやはり僕は「地の色より若干薄い色」を推したい。特にモノクロの場合には、エロい!

■工口絵を描くからには誰でも必ず通る道がある。「はじめてOOを描いた時」の事だ。自分の事を少し語らせてもらおう。まずはおはいさが、原作版デビルマンの妹鳥シーラスが俺の描いたはじめてのおはいさがあった。当時中学1年生、まだ既存のキャラを脱がす程の度胸も無く、「俺ねたせシーラスを描いてるだけなん辻シーラスは最初から裸だから仕方無く胸も描かなければいけないんだ」みたいに言い訳じみた事を考えつ、それはもう叶ドキしながら描いた事をよく憶えている。

■そして刻は流れ高校1年生、運命の時は来た。16年の人生で初の「おま○こを描いたのだ。その題材こそが何を纏うマニア姉さんその人だった。はじめておはいさ描いた時以上の叶ドキとものすごい背徳感、そして何よりもまだ見た事の無い物を想像して描くという事の何とも言えない興奮は生涯忘れる事は無いだろう。ま、その時に描いたおま○こなんて今見たら恥かしさ死んじゃう様な100%ファンタジーなおま○こなんだろうけどな!!

■そして現在描いてるおま○こも100%ファンタジーなんだからね。

■全体的にコミカルな感じのモンスターが多い
ドクエにおいて、このつちわらし系は不気味な
印象が少し強い。おかげでこういっ張りとする。
大型のモンスター相手よりはこういった小さいモンスター
の集団によったかて隠れ物にされる、という方
が個人的にはかなりくるのだが、さて、緒兄
達はいかがだろうか？





■ドライエイジ登場する小型の
モンスターは焦点が定まらないさ
そうな向を考えているのがよくわから
ない奴も多い。それはそれでとにかく
本能の走くままに性愛行為に
没頭する姿がよく似合ひするものだ。

馬鹿
畜生

ち
ま
待
て

■マーニャ姉さんのエロ同人誌の中に結構な割合でおねショタ物があります。年端もいかない美少年を喰っちゃう様な内容だけ...少年とお姉さんというエロシチュエーションはアリ。アリなんだけど、俺としてはあくまでもお姉さんには受けたがって欲しい記念のよ。数人の年端もいかない少年達に思いきり媚薬物にされちゃう様なごぞ見たいと切に願うばかりである。こういうの何て言うんだ?ショタおね?

■何せかわいらしいに無理矢理犯される様なのは、カリガ好きみたいな感じになっちゃったけど凶暴で凶悪なモンスターに強制種付けSEXみたいなのだと大好物ですから。
ま、要はレイア輪姦王が大好き
この事なんぞすけども。
最低だ!!





■ そしこどわはあぱいにあがけ。褐色の肌に
真白な精液のコントラストはいつの時代も良い物です。



グレートまがみがあらわれた！
グレートまがみはげんかいた！！

と思い立った時のマニヤ姉さんの使用率は、モリガン程度では無いにせよ、かなり高い数値をキープし続けて、俺の中で「オニー、娘四天皇」として君臨しているのである。しかし、こうやってマニヤ姉さんとオニーに関しての事を書いているとどうしても外せない事がある。あれは俺が埼玉に居た時の事。プレステか何かにドラエニアが移植された折、友人と共に「PS版だけ何とか知らぬが俺達やストロングにファミコン版をゲットするぜ!!」とか息巻いてロムカセットを引張り出し、戦闘開始と共にイイナヅンをぶ放すマニヤ姉さんに「この欠陥人工知能が!!」等とゲキを飛ばしつつ、その友人に「マニヤ姉さんがキンギレオにズタボロに犯される内容のエロ同人誌が見たい!! 見たい!! 見た～い!!」と言い続けていたら果たして本当に彼はマニヤ姉さんがキンギレオにズタボロに犯されるエロ同人誌を描き上げてくれたのだ。その出来栄えは本当に素晴らしい。今でもマニヤ姉さん使用率が高い数値をキープする要因の一端になっているという事は言うまでもないだろう。そしてその友人は、この夏コミでその本のリメイクをするのだと言う。これはもう! 楽しみで仕方が無いではないか!!

■とか何とか書いてる内にそろそろスペースも少なくなってきたので、今回まではこの辺で筆をいやさペンタゴンを置くとしよう。こんな本のこんな所まで読んで下さったそこのあなた、この度は本当に本当にありがとうございました!! それではまた会う日まで!!

シーエーナ

■おつかれ様！あとがきみたいな物です。どうぞしたがえようか。最初は「モリガン以外のキャラでコピー一冊なんて絶対無理だぞ!!」とか思ってた訳なんですが、いやいやどうして、案外向とかなっちゃうモノありますね(いやホントは今、こうして後書きとか書いてるこの瞬間も、間に合うかどうかの超ギリギリのラインだったりする訳なんですが)。しかし…本文中でも触れた事だけれど、俺が人生初おま○こを描いたあの日からもう既に20年以上経ってしまった訳なんですが、やっぱ品の無い言葉になるけどさ、今でも「一丁オナニーゼもするか！」

奥付 だしないお姉さん

発行
著
印刷

NNZ団
グレート魔神
コンビニコピー

2011.08.14 コミックマーケット80

